

〔「李鉄拐・蝦蟇仙人図」・「文人幽居山水図」〕の修理にかかる仕様書

1. 事業の趣旨・目的

大津市歴史博物館では、所蔵資料を適切に保存管理するとともに、館内での展示や他館の展覧会などへの貸出しによって鑑賞の機会を提供している。しかし、古い資料ゆえの経年劣化や、かつての保管状況・環境の要因により、損傷が進行しているものがあるため、保存修理を行う。

2. 概要

(1) 業務内容

〔「李鉄拐・蝦蟇仙人図」・「文人幽居山水図」〕の修理および衝立から軸装への改装。

(2) 修理対象資料の形状等

ア 品質形状

絹本淡彩、衝立

イ 法量

法量（本紙）：【李鉄拐・蝦蟇仙人図】縦 111.3 cm、横 127.3 cm

【文人幽居山水図】縦 112.1 cm、横 128.3 cm

ウ 員数

2面（衝立1基の表裏）

(3) 現状および破損状況等

【衝立の現状・破損状況】

ア 廻り縁・脚に大きな破損や経年の収縮はなく、自立している。

イ 本紙が付け廻された金箔地大縁は、糊しろ部分だけで衝立の下地紙に貼り付けされており、複数箇所糊離れによる大きな浮きが生じている。

ウ 本紙についても、糊離れによって、大縁から剥がれている部分が複数箇所存在する。

【本紙の現状・破損状況】

エ 本紙の絵絹は、所在してきた環境と経年によるヤケと劣化が全体的に認められる。

オ 衝立表裏の両図において、本紙両端にまたがる大きな断裂が認められる。

カ 断裂部分については、絵絹の脱落は限定的であり、当該部分の図様がおおむね復元できると思われる程度の脱落状況である。

キ 両図とも画面中段付近では、絵絹が欠損している箇所と面積が多い。

ク 本紙の周縁部における絵絹の欠損部分には毛羽立ちが認められることから、虫損によるものと推測される。

ケ 本紙の絵絹上に、多数の擦過痕（引っ掻き傷）がある。目視上では、大多数の擦過痕は肌裏の層までは到達しておらず、比較的浅いものと思われる。

コ 印泥による絹地の劣化で、印章部分の絵絹が大きく脱落している。

サ 現状の衝立では保管および展示活用が困難である。軸装への改装が必要である。

3. 修理方針

(1) 本体修理

ア 本紙の状態調査を行い、修理前の状態についての写真撮影および記録を行う。

- イ 本紙を衝立から切り離し、本紙絵絹の強度に留意しつつ、クリーニングする。
- ウ 本紙絵絹の肌裏紙および他の裏打ち紙を除去する。
- エ 本紙絵絹に肌裏紙を入れる。用紙は美濃紙を用いる。
- オ 増裏紙を入れる。用紙は美栖紙、糊は古糊（腐糊）を用いる。
- カ 本紙上にて折れが生じている箇所に、漏れなく折伏せを施す。
- キ 本紙絵絹が脱落している箇所に対し、補絹の処置はしない。
- ク 総縁用の無地裂に肌裏を打つ。用紙は美濃紙、糊は新糊を用いる。
- ケ 必要に応じて増裏を入れる。用紙は美栖紙、糊は古糊（腐糊）を用いる。
- コ 無地裂を本紙の総縁として付け廻しを行う。
- サ 中裏を入れる。用紙は美栖紙、糊は古糊（腐糊）を用いる。
- シ 総裏を打つ。用紙は宇陀紙。糊は古糊（腐糊）を用いる。
- ス 上巻絹を当てる。
- セ 仮貼りにして掛けた状態で長期間、乾燥を行う。
- ソ 軸首・上下軸木を新調し、掛緒・巻緒・鏝等を取り付け、軸装（総縁のみの袋表装）に仕立てる。
- タ 中性紙保存箱・太巻芯（桐材）を新調して作品を納める。

(2) 収納

- ア 箱へ収納する際は、和紙による包紙で巻いて収納する。

(3) 記録及び報告書

- ア 修理前後および修理中の状況を、カラー写真により撮影記録する。
- イ 修理内容、修理前後の比較、用いた修理材料、知見等を報告書にまとめる。報告書には適宜、理解しやすい図、表、写真等も盛り込むこと。

4. 実施期間

契約日から令和9年3月31日（水）まで

5. 業務範囲

- (1) 業務実施計画の企画・立案
- (2) 業務実施（状態に応じた調査の実施を含む）
- (3) 業務の詳細な報告書等の作成
- (4) その他業務実施に必要な業務

6. 資料および報告書の納入期限・場所

(1) 納入期限

令和9年3月31日（水）

(2) 納入場所

滋賀県大津市御陵町2番2号 大津市歴史博物館

7. その他

- (1) 修理作業を行う前に必ず業務実施計画を作成し、歴史博物館の承認を得ること。
- (2) 提出した報告書および本修理作業について、即時説明できる体制を整えること。
- (3) 当業務は再委託することはできない。ただし、委託者が事前に許可したものについては、その限りではない。
- (4) 業務実施期間中、資料の盗難や滅失に対し、万全の措置を講じること。
- (5) 折伏せ用の補修紙および裏打紙用の美濃紙・美栖紙、古糊（腐糊）・新糊など、本業務に使用する材料については、文化財修復に適したものを使用すること。
- (6) 仕様書に定めのない事項がある場合や疑義が生じた場合は、協議の上、歴史博物館の指示に従うこと。

修理対象物件写真



李鉄拐・蝦蟇仙人図 本紙：縦 111.3 cm、横 127.3 cm



李鉄拐部分



蝦蟇仙人部分



断裂左



断裂中央



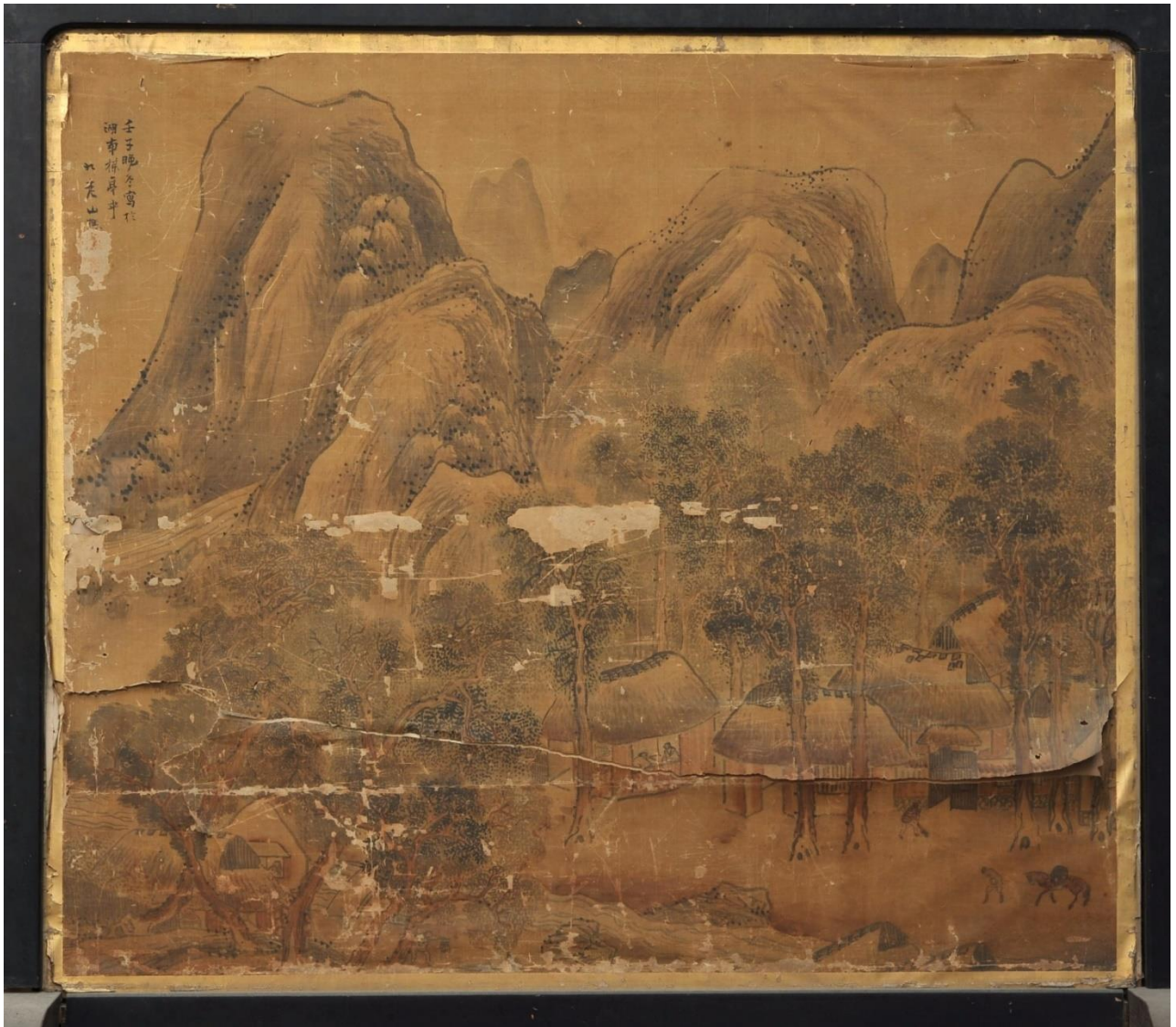
断裂部分扩大



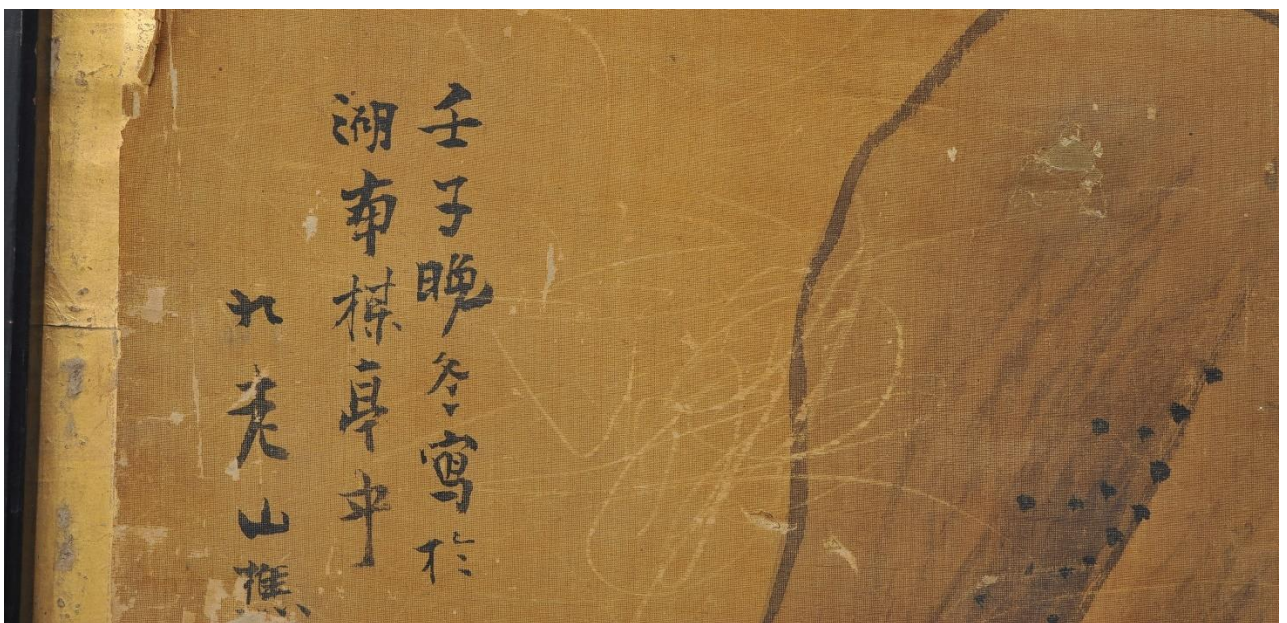
断裂部分右



李鉄拐・蝦蟇仙人図 署名「做超大年法／紀樸亭」



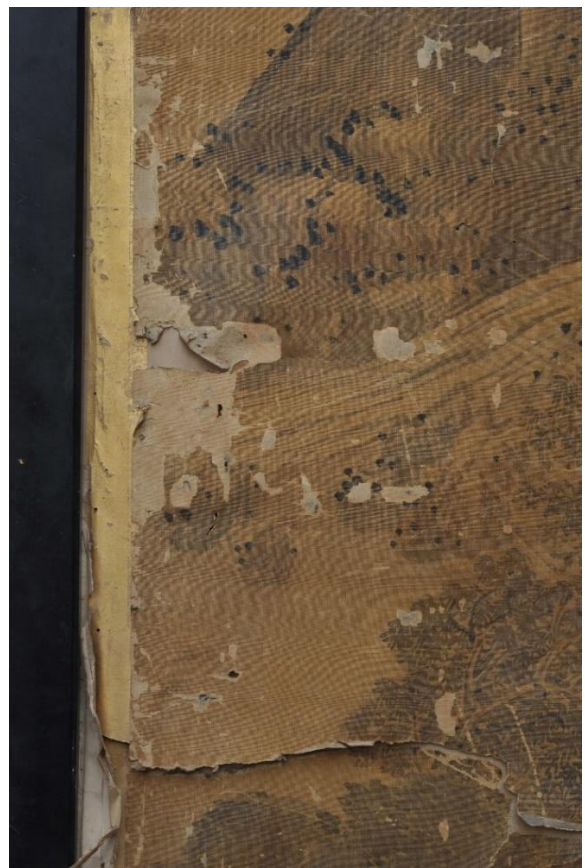
文人幽居山水図 本紙：縦 112.1 cm、横 128.3 cm



本作署名「壬子晚冬寫於／湖南樸亭中／九老山樵」 干支は寛政4年（1792）



右縁状況



左縁状況



断裂部分右



断裂部分中央右



断裂部分中央左